



頂の夜 200 mm x 150 mm



地鳴りを聞く 101 mm x 195 mm

私の使用する木口木版は、木材の年輪のある面、木口面を彫り進める技法です。西洋木版とも呼ばれ、主に黄楊、樺などの硬い木材が選ばれます。細密な表現ができることが特徴で、一度黒く染めた版面を、ビュランという彫刻刀で彫っていきます。

この技法は、西洋で本の挿絵を印刷するために誕生しました。たとえば動物・鳥類図鑑や童話、叙事詩の挿絵が有名です。つまり版画とは本来、額に納めて飾って楽しむだけでなく、手紙や絵本と同じように、手にとって鑑賞することができるものです。鑑賞者と作者との距離が、とても近い芸術といえます。

私は旅先で出会った風景や、記憶の断片から生まれた世界を、版に刻もうと思っています。山道を歩いて感じる生命の気配、近所を歩いて目についた光景。そういった要素から、ちいさな世界を紡いでいます。

今回は、額を通して私の世界を覗いていただけますが、木口木版画という表現を、ぜひ身近に感じていただきたいと思います。



残雪の奈良井宿 120 mm x 160 mm

塚田辰樹 tatsuki tsukada

1986年長野県生まれ東京都在住
印刷物の制作会社へ勤務しながら版画を制作中
2005-2009年 東北芸術工科大学芸術学部美術科洋画コース入学、卒業

- 2014 林檎たちのマスカレード展(デザインフェスタギャラリー/東京)
- 2015 D15(フラットファイルスラッシュ/長野)
「紙に鉛筆」展(フラットファイルスラッシュ/長野)
- 2016 トボス高地 アリコ・ルージュ 2016(アリコ・ルージュ/長野)
干支・酉展2016(ギャラリーkanon)
- 2017 私の想い本展(ギャラリーkanon)
菅アート展(アートギャラリーBlanc(プラン))
- 2018 Nagano Art File 2018
信州版画展
菅アート展(アートギャラリーBlanc(プラン))
- 2019 塚田辰樹木口木版画展(アートギャラリーBlanc(プラン))

受賞歴

- 額縁のタカハシ賞 / 2017 菅アート展(アートギャラリーBlanc(プラン))
- 奨励賞 / 2018信州版画展
Blanc(プラン)賞 / 2018 菅アート展(アートギャラリーBlanc(プラン))

クリニックと現代作家が互恵的に社会環境を創出するこの企画は、来院された方々は勿論、医療従事者ならびに、視覚芸術作品の癒しの機能性をはかる作家を交え、従来の共有空間をよりよきものとするための試みとして発想されました。三ヶ月毎に入れ替わる作家作品を、お楽しみいただければ幸いです。

医療法人 北島眼科クリニック 理事長 北島秀一



医療法人北島眼科クリニック
〒381-0042 長野県長野市稲田 3-13-1
phone: 026-213-0205 / fax: 026-213-0206
<http://kitajima-eye.com>
*インフォメーションページにてアーカイブを参照できます。
<http://kitajima-eye.com/information.html>

トボスパブリック @ 医療法人北島眼科クリニック 2019 スケジュール

2019年 10月～ 12月 : ナカムラマサ首 作品展示

*展示作品は、展示期間終了後のお渡しにて販売可能です。

*展示作品に関するお問い合わせ トボス企画責任 町田哲也 / クマサ計画 藝術と思想
長野県上水内郡飯綱町川上2755-950 〒389-1226 phone & fax 026-405-7519